



2016年1月5日

各 位

会社名 富士製薬工業株式会社
代表者 代表取締役 社長執行役員 今井博文
(コード番号 4554 東証一部)
問合せ先 取締役 コーポレート企画部長 井上誠一
T E L 03-3556-3344

持続型赤血球造血刺激因子製剤「ダルベポエチンアルファ」 ライセンス契約締結のお知らせ

富士製薬工業株式会社（以下「当社」）は、持続型赤血球造血刺激因子製剤「ダルベポエチンアルファ」のバイオ後続品（以下「本剤」）について、Chong Kun Dang Pharmaceutical（本社：韓国ソウル市、代表理事：KIM Young-Joo、以下「CKD 社」）と日本国内での独占開発、製造及び販売に係るライセンス契約を締結しましたのでお知らせいたします。

「ダルベポエチンアルファ」は、腎性貧血の治療に用いられる持続型赤血球造血刺激因子製剤であり、保存期慢性腎臓病および腹膜透析の腎性貧血患者に対し貧血の症状を改善する目的で、日本国内で広く使用されております。

本剤は、2013年に発売した遺伝子組換えヒト顆粒球コロニー形成刺激因子（G-CSF）製剤の「フィルグラスチム BS 注シリンジ「F」」に次いで当社が開発するバイオ後続品になります。

当社は、2015年9月期を初年度とする5ヵ年の中期経営計画において「Fuji Pharma ブランディング」をテーマとし、戦略領域における「ブランド×ジェネリック×CMO」の独自相乗発展モデルの構築を進めております。また、CKD 社はバイオ医薬品を始めとする製品力とその優秀な研究開発力を基にグローバルに活躍する韓国内有数の製薬メーカーです。

今回の提携契約の締結により戦略領域である急性期医療におけるブランドの強化を図るとともに、慢性腎不全の患者様への新たな選択肢を提供し、貢献できるものと考えております。

Chong Kun Dang Pharmaceutical の概要

設立年月：1941年5月

本社所在地：Seoul, Korea

代表者：KIM Young-Joo

資本金：23,523 百万ウォン

売上高：544,130 百万ウォン（2014年）

事業内容：医療用医薬品の研究・開発、製造・販売を中心し、関係会社で原薬、健康食品事業等を手掛ける

以上